

令和8年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	文化振興経費 (亀岡ジャズフェスティバル事業補助金)	5 休止	<p>○収支報告については、補助金拠出の対象事業を明確に区分されたい。また、不正や疑義が生じることのないよう、一層の透明性の確保を図られたい。</p> <p>○行政が実行委員会に対してより深く関与し、実行委員会の体制も含めたあり方全体について抜本的に再考されたい。</p> <p>○この事業が市民福祉の増進につながっているのか、徹底した検証に努められたい。</p>
2	セーフコミュニティ推進経費	1 拡充	<p>○認証取得が目的ではなく、市民への安全安心の取組を進め、市民参画を広げられたい。</p> <p>○セーフコミュニティについて周知啓発を行い、市民一人ひとりが「自分ごと」として捉えて、安全安心のまちづくりを意識できるよう、効果的な広報や取組の推進を図られたい。</p>
3	不登校対策経費	6 その他（見直しの上、拡充）	<p>○「誰もが行きたくなる学校づくり経費」として、新たな予算事業を作り、対策を講じられたい。</p> <p>○不登校の出現率が増加傾向にあるため、対症療法ではなく、速やかに原因療法に取り組み、未然防止の徹底を図られたい。</p> <p>○不登校対策支援員を各学校に配置するなど拡充を図ることに取り組まれたい。</p>
4	いじめ防止対策経費	1 拡充	<p>○いじめの認知件数が増加傾向にある中で、対症療法ではなく、いじめを根本から解消し、子どもたちが安心して通える、誰もが行きたくなる学校づくりの実現に努められたい。</p> <p>○スクールロイヤーの活用を検証し、今後に活かされたい。</p> <p>○児童生徒や保護者が安心して相談しやすい窓口や体制を充実されたい。その点でオンブズパーソンについて、他市の取組を研究し、本市に活かされたい。</p>
5	災害時要配慮者支援経費	3 見直しの上継続	<p>○命のカプセルについては、課題や今後の方向性を確認した上で、時代に応じた見直しを含め、現実的な形にブラッシュアップされたい。</p> <p>○実効性のある計画の作成や共助の仕組みづくりに向け、広報・周知の取組強化および地域・消防団・関係機関との連携を一層推進されたい。</p>

令和 8 年 9 月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
6	高齢者生活支援経費 (敬老乗車券に係る経費)	3 見直しの上継続	○総合的に亀岡市の移動手段の確保につながるよう、公共交通を所管する部署と連携し、高齢者福祉にも配慮した公共交通空白地域の移動手段確保の支援を進められたい。 ○地域主体型交通の広域化や移動支援のモデル事業、公共ライドシェアを組み合わせ、地域間格差を解消するための取組を実施されたい。
7	保険者機能強化推進事業経費 (いきいき健幸ポイント事業に係る経費)	3 見直しの上継続	○認知度の向上と周知徹底を図り、市民参加の増進や関心を高めるとともに、高齢者の社会参加の促進に努められたい。 ○事業の受け入れ団体の拡大や事業内容の充実を図られたい。
8	有機農業推進事業経費	1 拡充	○本市における有機農業の推進は軌道に乗り始めたばかりであり、各種事業費の効果は現時点で十分に現れていない。今後は、有機作付面積の拡大や有機 J A S 認証の取得促進に加え、販路の拡大や規格外野菜の有効活用といった出口戦略を確立し、有機農家の所得向上に確実につながれるよう、着実に取り組まれたい。
9	商工業振興対策経費	3 見直しの上継続	○花火大会については、本来の開催趣旨を踏まえ、規模や内容を含めた今後の在り方について慎重に検討されたい。 ○企業立地等奨励金については、企業誘致や経済効果の拡大、雇用促進につながれるよう、今後の在り方を検討されたい。 ○限られた財源の中で、選択と集中の観点からより効果の高い事業に重点を置くよう検討されたい。
10	移住・定住促進経費	3 見直しの上継続	○各種事業について、移住・定住人口の増加にどのような効果を与えているのか検証し、移住・定住者のニーズに合った事業に取り組まれたい。 ○空き家に対する需要があるにもかかわらず、空き家を提供できる体制となっていないことから、全庁的かつ横断的な推進体制を構築し、空き家・空き地の解消に積極的に取り組まれたい。